

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	おあしす	事業所番号	3310102508
住 所	岡山市北区東古松1-1-28	管理者名	酒井 敬司
電話番号	086-206-1100	対象年度	令和2年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>ヴァルトジャパン株式会社と契約し、岡山市内の病院に営業をし、新型コロナ拡大で不足しがちなフェイスシールドの必要数を確認して、施設外就労で作成したフェイスシールドを無償で提供した。</p> <p>契約した企業：ヴァルト ジャパン株式会社（日本財団と連携）</p> <p>活動日程：令和2年5月～8月 営業 令和2年6月～12月 作成・配送</p> <p>利用者：43人</p>	<p><活動の様子> 納品時の写真</p>  <p>済生会病院 2,500枚納品</p> <p>院長先生へお渡し 理事 佐藤 業務部長・賃金向上達成指導員 酒井</p>																
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい 障害者施設として地域に貢献していくことで、地域に溶け込み、協力し合える関係を築いていく。</p> <p>地域にとってのメリット 新型コロナの中で必要なものが病院に提供される</p> <p>対象者にとってのメリット 無償で必要なものが提供される</p>	 <p>慈圭病院 3,000枚納品</p> <p>事務局長へお渡し 管理者 酒井 理事 佐藤 業務部長・賃金向上達成指導員 酒井</p>																
<p><成果></p> <p>得られた成果 製品を作成するにあたり、病院に収めるものなので、清潔な環境下での作成し、品質の向上、納品数のチェック等細心の注意を払った。利用者が皆で協力し、納品までの期日内に完成させなければという責任感から作成に前向きに取り組んでいた。納品した病院からはとても感謝され、人の役に立つ作業をしたという実感を得られ、やりがいを感じられた。</p> <p>課題 作業に慣れてしまうと雑になりがちなので、つねに品質の向上を心掛ける。</p>	 <p>精神科医療センター 300枚納品</p> <p>事務局長へお渡し 理事 矢木 理事 門野</p> <p>その他 病院名 納品数</p> <table border="1"> <tr><td>岡大病院</td><td>4,000枚</td></tr> <tr><td>旭東病院</td><td>1,000枚</td></tr> <tr><td>市民病院</td><td>2,500枚</td></tr> <tr><td>ろうさい病院</td><td>500枚</td></tr> <tr><td>協立病院</td><td>300枚</td></tr> <tr><td>岡山医療センター</td><td>2,000枚</td></tr> <tr><td>岡村一心堂病院</td><td>300枚</td></tr> <tr><td>岡山西大寺病院</td><td>300枚</td></tr> </table> <p>合計10病院へ贈呈 16,700 枚</p>	岡大病院	4,000枚	旭東病院	1,000枚	市民病院	2,500枚	ろうさい病院	500枚	協立病院	300枚	岡山医療センター	2,000枚	岡村一心堂病院	300枚	岡山西大寺病院	300枚
岡大病院	4,000枚																
旭東病院	1,000枚																
市民病院	2,500枚																
ろうさい病院	500枚																
協立病院	300枚																
岡山医療センター	2,000枚																
岡村一心堂病院	300枚																
岡山西大寺病院	300枚																

連携先の企業等の意見または評価

<p>1. 納品した各病院からは、大変喜ばれ感謝されました。 「コロナの感染防止のために医療従事者が一丸となって取り組んでいます。」との力強いお言葉を拝聴し、身の引き締まる思いがしました。</p> <p>2. 特に岡山大学病院からは、金澤 右病院長の直筆サイン入りで別紙の如く「御礼状」をいただきました。</p> <p>3. 病院側からの言葉をおあしすの全員に伝え、岡山～日本～世界が大変な時に少しでも障害者の自分達もお役に立てたんだという実感をみんなで分かち合い、コロナに対する意識を共有できたことをうれしく思っています。</p>			
連携先企業名	ヴァルト ジャパン株式会社	担当者名	岡野 菜摘